

社会安全政策研究所活動ニュース

本研究所が 2020 年 1 月から 2020 年 12 月までに行った主な研究活動は、以下のとおりです。

I. 共同研究（I-A）・「子供を守るための地域連携研究」の実施

2020 年度には引き続き、2018 年度に警察政策学会の一部会としても承認された「子供を守るための地域連携研究」を実施し、被害者化・加害者化から子供を守るための警察を起点とした地域連携に関する研究を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kodomochiiki_2018.html

II. 共同研究（I-B）・独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業の基盤研究（C）「国際テロリズムの未然防止に関する国際法枠組」の実施

2020 年度には引き続き、2018 年度に採択された独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業の基盤研究（C）「国際テロリズムの未然防止に関する国際法枠組」を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

III. 共同研究（I-C）・「大都市治安（安全）研究」の実施

2020 年度には引き続き、2016 年度に警察政策学会の一部会としても承認された「大都市治安（安全安心）研究」を実施し、新宿区を始めとした外国人集住都市の比較研究を通じ、より安全で安心なまちづくりを行うための政策等に関し検討を行いました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

IV. 共同研究（II-A）・「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」の

実施

「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」を 2020 年も継続して実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/menu12.html>

V. 共同研究（II-B）・「犯罪者の就労支援研究」の実施

「犯罪者の就労支援研究」を 2020 年も継続して実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

VI. 共同研究（II-C）・「英米少年法研究」の実施

「英米少年法研究」を 2020 年度も継続して実施し、前年度に引き続き Susan Guarino-Ghezzi & Edward J. Loughran, “Balancing Juvenile Justice” の翻訳作業を行いました。

VII. 共同研究（II-D）・「日豪犯罪処理システム比較研究会」の実施

2020 年度には引き続き、2018 年度より開始した「日豪犯罪処理システム比較研究会」を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

VIII. WIPSS 第 74 回定例研究会ならびに警察政策学会研究部会（「子供を守るための地域連携研究部会」）の公開研究会の開催

2020 年 1 月 11 日（土）に早稲田大学早稲田キャンパスにおいて、警察庁警察大学校警察政策研究センターの後援のもと、警察政策学会研究部会（「子供を守るための地域連携研究部会」）の公開研究会が開催されました。

第一部の各県警からの報告では、①新潟県における最近の少年非行の現状・傾向及び県警少年サポートセンターの活動状況について、②愛知県における性被害を受けた少年の現状及び立ち直り支援活動について、③宮城県におけるスクールサポーターの支援内容及び県警少年サポートセンターの立ち直り支援活動について、④埼玉県におけるスクールサポーター制度の活動内容及びその効果について、各県警の報告者から報告が行われました。

第二部のパネル・ディスカッションでは、学校でのいじめや校内暴力事案ならびに児童虐待事案を中心に、子どもを守るための警察を起点とした地域連携のあり方について、主に学校・教育委員会や児童相談所との①人的連携（人事交流）、②協定書など文書等による連携、③場所的な連携（ワンストップサービス）、④情報共有システムなどによる連携（システム共有）の観点から各県の現状と課題について討議が重ねられました。

その中で、教育委員会との人事交流に関する効果的事例として、教育委員会から警察に派遣された教員を通して得られた知見により、グループワークを用いた双方向の授業（非行・薬物乱用防止教室）ができるようになったとの報告がなされました。

児童相談所との人事交流について、現職の警察官が児童相談所に出向・派遣することの意義について質疑がなされ、各報告者から①情報共有が早くなること、②警察と児童相談所との児童保護に関する合同訓練などの対応ができるようになること、③司法面接や事件化の検討が迅速に行われるようになること、④子どもが家庭復帰する場合に的確に役割分担ができるようになることなどの効果があるとの報告がなされました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/menu13.html>

<第二部パネル・ディスカッションの様子>



<フロアーの様子>



IX. 2020 年度早稲田矯正保護展の開催

2020 年 11 月 13 日（金）に，社会安全政策研究所を主催団体の一つとして，2020 年度早稲田矯正保護展（テーマ：「刑務所出所者等に対する就労支援」）が開催されました。

X. 定例研究会の開催

本研究所では、第13期（2020年1月から2020年12月まで）として定例研究会を開催しました（原則として報告者は2名で、奇数月の第三土曜日に開催。）ただし、第13期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研究会は1回のみとなりました。

報告タイトルは、以下のとおりです。

- ・第74回定例研究会（拡大）（2020年1月11日開催）

公開研究会「警察政策学会研究部会（「子供を守るための地域連携研究部会）」

X I. 研究員の異動

本研究所では、以下の研究員の新規嘱任・身分変更がありました（2021年1月から2021年12月まで。50音順）。

1. 新規嘱任

(1) 研究所員

なし

(2) 招聘研究員

今福 章二（特定非営利活動法人日本BBS連盟会長）

大橋 哲（元法務省矯正局長）

小林 万洋（長野大学社会福祉学部教授）

2. 身分変更

なし

※なお、本研究所の活動につきましては、本研究所のホームページもご参照下さい（URL: <http://www.waseda.jp/prj-wipss/>）。